

会津美里町 地域おこし 協力隊



あいづじん



地域おこし協力隊とは？

都市地域から町内に転入し、
概ね3年間の任期の中で地域協力活動を行います。

活動を通じて、地域活力の維持・強化を図り、
隊員が町内に定住・定着することを目標としています。



地域おこし協力隊制度のしくみ

国（総務省）

特別交付税（※）

地域おこし協力隊の活動に要する経費：最大520万円/隊員1人
給与：上限320万円
その他の経費：上限200万円

（※）特別交付税

➤ 地方の財源不均衡を調整や特別な需要への調整を目的とする国から地方への財政措置

地方公共団体（会津美里町役場）

地域おこし協力隊制度を構築・実施

注意 × 地域おこし協力隊の予算＝520万円
○ 地域おこし協力隊の予算＝町が予算化した金額

受入先

・本郷焼事業協同組合
・株式会社米夢の郷 等

委託

地域おこし協力隊を雇用、活動費の予算化

地域おこし協力隊

地域協力活動を実施



なぜ、協力隊を導入するのか？

会津美里町が地域おこし協力隊を募集する目的は、

- ① 会津美里町総合計画に掲げる地域課題の解決 と
- ② 町外人材の定住・定着による人口の増加 です。

平成28年度に協力隊を初めて導入して以来、地域の課題ごとに協力隊を募集し、地域課題の解決に向けて、20名以上の隊員が活躍してきました。

会津美里町が地域おこし協力隊を募集する目的

地域おこし協力隊



採用条件

地域協力活動

移住

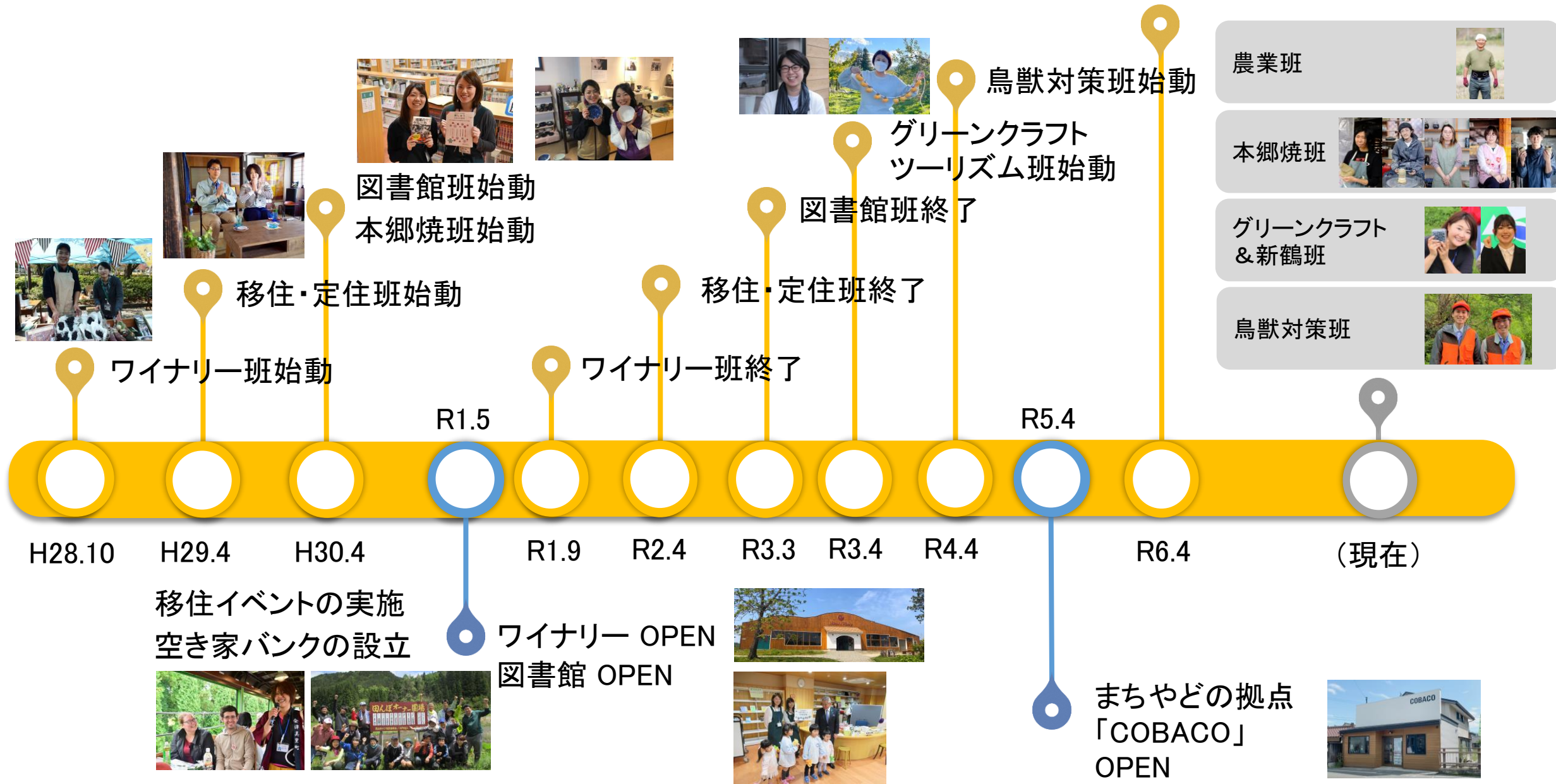
地域課題（総合計画等）

人口減少・空き家問題

地域課題
の解決

定住による
人口増

これまでの地域おこし協力隊の取り組み



会津美里町 地域おこし協力隊が**目指すもの**

それは、
地域と協力隊が
共に幸せになること。

地域おこし協力隊にとっても**生き甲斐**を探すきっかけとなる一方で、隊員の地域貢献活動を通して、**地域**にとってもメリットがあるような関係性を目指しています。



会津美里町地域おこし協力隊が目指すもの ➤ 三方良しの関係



協力隊

- 自身の才能・能力を活かした活動
- 理想とする暮らしや生き甲斐発見



地域

- 新たな視点、熱意による地域への貢献
- 新規事業（法人、飲食店等）の可能性

町役場

- 行政ではできなかった柔軟な地域おこし
- 住民が増えることによる地域の活性化





(地域おこし協力隊希望者の皆様へ) 隊員への支援について

協力隊の方々が会津美里町での暮らしを楽しんでもらえるように
町としても、様々な支援を実施しています。

助成制度のほか、地域の協力団体と連携し、
協力隊が活動しやすい環境を整えています。

OB・OGによるサポート体制も充実させ、
地域住民の方々と現役隊員間の交流も行っています。

会津美里町の地域おこし協力隊への主な支援制度

01 住宅費用助成金

- ・住宅賃借料月額4万5千円を上限に助成
- ・引越し経費 単身世帯10万円、同居家族のいる世帯15万円を上限に助成
- ・敷金・礼金等 9万円を上限に助成

02 自己研さん費助成

- ・年間10万円を上限に助成

03 情報発信経費助成

- ・情報発信に必要な画像・動画編集、デザインに関するオンラインサービスの契約に要した経費を年間10万円を上限に助成

04 起業支援補助金

- ・起業に要する費用を1人あたり100万円(補助率10/10)を上限に補助



05 地域おこし協力隊OB・OGによるサポート体制

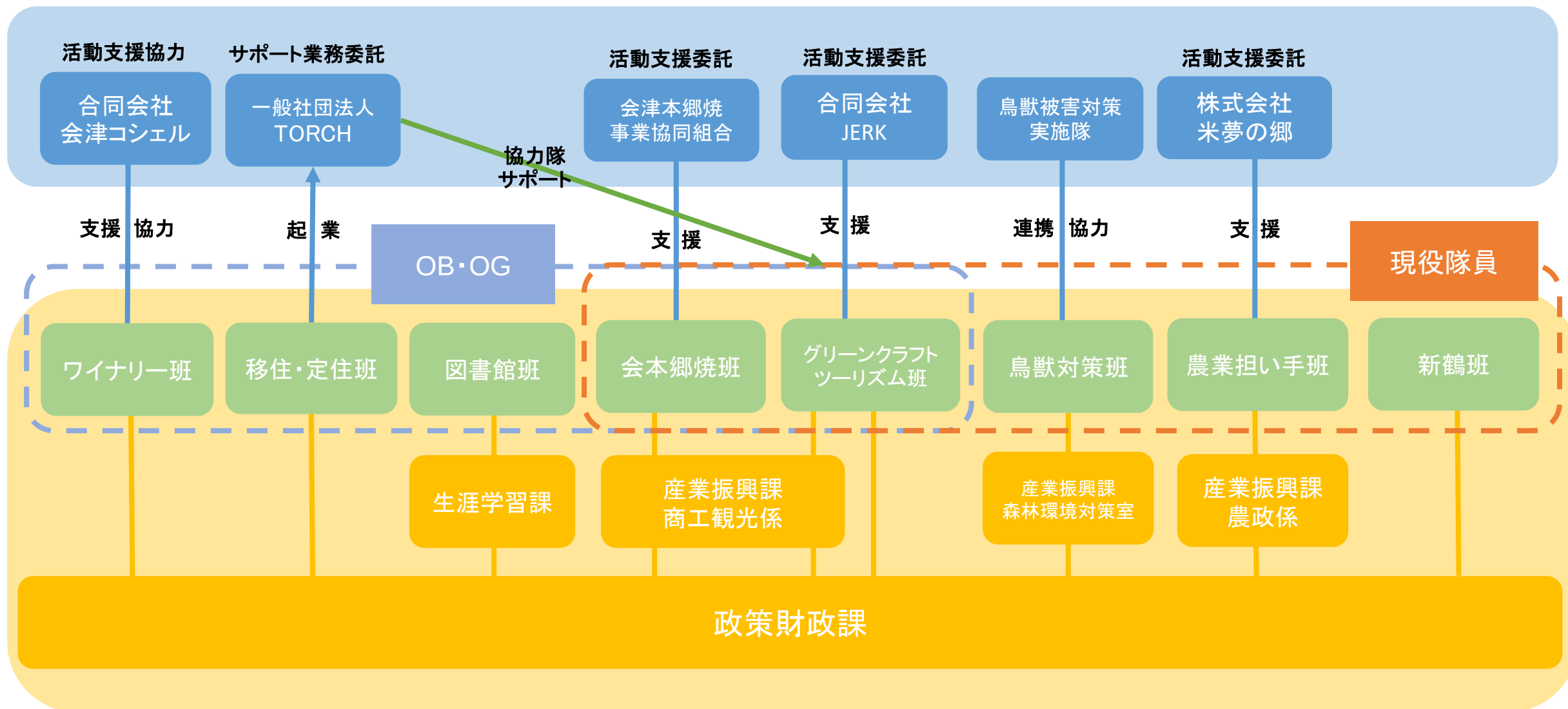
- ・一般社団法人TORCH(会津美里町地域おこし協力隊元OB・OG)にサポート業務を委託し、月例ミーティングの実施や相談デスクを設置
- 月例ミーティングでは、隊員のスキルアップを目的とした研修のほか、隊員・OB/OG間で情報共有や日々の悩みや活動に関する相談などをする貴重な機会になっています。

会津美里町協力隊の体制について

町担当課

地域おこし
協力隊

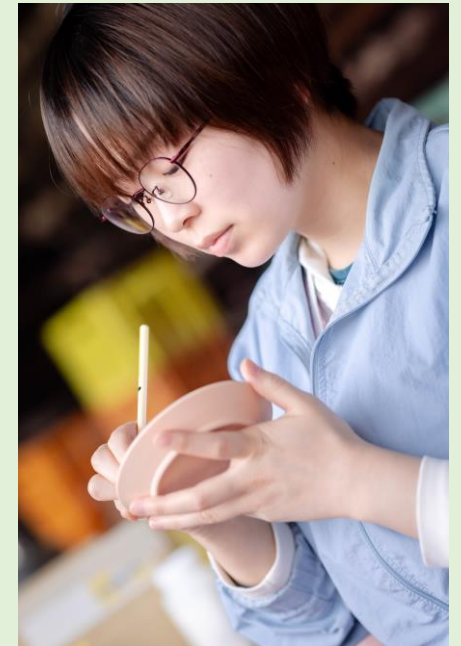
協力団体



(地域おこし協力隊希望者の皆様へ)
会津美里町を
新たな**挑戦**の場として
選んでほしい

「農業をやりたい!」、「陶芸家になりたい!」
「自分のスキルを活かして鳥獣対策に携わりたい!」
「地方での暮らしを楽しみたい!」

そんな思いを持った方々が会津美里町に移住し、
地域おこし協力隊として自分の目標に向かって
活動しています。



CHALLENGE MISATO 協力隊

新たな価値・理想の暮らし



- ・ じゃらんかけアクセサリーショップの開業
- ・ ぶどう農家としてワイン作り
- ・ 空き家を工房とし、窯元として独立



地域課題
(ビジネスチャンス)

図書館の立ち上げ
ワイナリーの立ち上げ
空き家、人口減少問題
鳥獣被害
会津本郷焼の担い手不足
農業の担い手不足
滞在型観光の推進

マッチング

&

3年間の協力隊活動

地域おこし協力隊
(やりがい・いきがい)

司書の資格を活かしたい
ぶどう農家として就農したい
空き家を活用した事業をやりたい
狩猟に興味がある
焼物づくりに興味がある
身しらず柿を作りたい
デザインのスキルを活かしたい



(地域おこし協力隊希望者の皆様へ) 会津美里町での暮らしを 心から楽しんでほしい

地域おこし協力隊の方々にとって、
見ず知らずの土地で生活をしていくというのは
はじめは大変なことだと思います。

ですが、会津美里町での暮らしを
最大限楽しんでもらえるように
町としても、全力でバックアップいたします。

また定住を目指す協力隊にとって、
同じ志を持った現役隊員やOB・OGも心強い仲間です。

現役隊員、OB・OG、役場職員一同
会津美里町地域おこし協力隊として仲間になってくれる方を

心よりお待ちしております！！

★地域おこし協力隊の活動報告をお知らせするページです。

ほのぼのみさこ

協力隊だより

6月

地域おこし協力隊とは？

都市部地域から町内に転入し、概3年間の任期の中で地域協力活動を行います。活動を通じて、地域活力の維持・強化を図り、隊員が町内に定着することを目標としています。

会津美里町では、解決の課題となる協力隊を配置し、地域に向けて様々な取り組みを行っています。

今年度の隊員紹介

鳥獣か地域を守る鳥獣対策班！

鳥獣対策の専門員として、令和4年4月より2名の隊員が活動しています。増加する生鳥獣の拡大の耕作放棄地の増大や様々な要因が複合的に関係し、クマやイノシシなどの野生鳥獣による農作物被害が深刻化しています。鳥獣被害対策実施隊の方々と連携しながら、鳥獣対策の知識を深め、町民の皆様が自ら鳥獣対策に取り組めるよう支援を行っています。

▲会津美里町では、現在8名の隊員が活動しています。

町ならではの魅力を発信！ ツーリズム班！

会津美里町の文化や日々の生活の中にある資源や魅力を磨き上げ、この町ならではの新しいツーリズムを生み出すことを目的とする3名の隊員が活動しています。

町民の皆様との協力を得ながら、地域に根ざした体験型ツーリズムの実施やSNS等を活用した情報発信を行っている。

▲左から松本美夢さん、熊谷郁さん、大木瑞貴さん。観光コンテンツの造成や商店街活性化を目的としたイベントを実施しています。

町ならではの魅力を発信！ ツーリズム班！

会津美里町の文化や日々の生活の中にある資源や魅力を磨き上げ、この町ならではの新しいツーリズムを生み出すことを目的とする3名の隊員が活動しています。

町民の皆様との協力を得ながら、地域に根ざした体験型ツーリズムの実施やSNS等を活用した情報発信を行っている。

▲左から佐藤良さん、水谷和瑞さん、竹内祐造さん。京元「流統焼」、12月「月夜」で技術習得に励んでいます。

★地域おこし協力隊の活動報告をお知らせするページです。

ほのぼのみさこ

協力隊だより

6月

地域おこし協力隊とは？

都市部地域から町内に転入し、概3年間の任期の中で地域協力活動を行います。活動を通じて、地域活力の維持・強化を図り、隊員が町内に定着することを目標としています。

会津美里町では、解決の課題となる協力隊を配置し、地域に向けて様々な取り組みを行っています。

今年度の隊員紹介

鳥獣か地域を守る鳥獣対策班！

鳥獣対策の専門員として、令和4年4月より2名の隊員が活動しています。増加する生鳥獣の拡大の耕作放棄地の増大や様々な要因が複合的に関係し、クマやイノシシなどの野生鳥獣による農作物被害が深刻化しています。鳥獣被害対策実施隊の方々と連携しながら、鳥獣対策の知識を深め、町民の皆様が自ら鳥獣対策に取り組めるよう支援を行っています。

▲会津美里町では、現在8名の隊員が活動しています。

町ならではの魅力を発信！ ツーリズム班！

会津美里町の文化や日々の生活の中にある資源や魅力を磨き上げ、この町ならではの新しいツーリズムを生み出すことを目的とする3名の隊員が活動しています。

町民の皆様との協力を得ながら、地域に根ざした体験型ツーリズムの実施やSNS等を活用した情報発信を行っている。

▲左から松本美夢さん、熊谷郁さん、大木瑞貴さん。観光コンテンツの造成や商店街活性化を目的としたイベントを実施しています。

町ならではの魅力を発信！ ツーリズム班！

会津美里町の文化や日々の生活の中にある資源や魅力を磨き上げ、この町ならではの新しいツーリズムを生み出すことを目的とする3名の隊員が活動しています。

町民の皆様との協力を得ながら、地域に根ざした体験型ツーリズムの実施やSNS等を活用した情報発信を行っている。

▲左から佐藤良さん、水谷和瑞さん、竹内祐造さん。京元「流統焼」、12月「月夜」で技術習得に励んでいます。